

怪異名：

星河一点

属性：

現象

破滅者／元凶：

民間伝承



存在点

初期値

現在値

基本攻撃

【頭脳】

▼ 原型

▼ 穢れ

	名称	タイミング	対象	回避／禁則
星	星辰の揃うとき 後勢	怪異	なし	—
(『トコヤミメイズ』126 ページ)				
歪曲	肉の歪み 後勢	全員	【肉体】	代替、アイテム、目標値上昇
(『トコヤミメイズ』140 ページ)				
光	暴露 先制	全員	【精神】	—
(『クラヤミクライン』161 ページ)				
	名称	タイミング	対象	回避／禁則
	名称	タイミング	対象	回避／禁則

設定：

古くから船乗りの間に伝わる伝承。沖合に出ると、いつの間にか辺りは暗くなり、夜が更けてしまう。真っ暗で静まり返った海。周囲には、他の船がいる気配もない。電子機器は動かず、コンパスはぐるぐると回って役に立たない。それではと、北極星を探すため夜空を見上げれば——満天の星々が、生き物のように滅茶苦茶に動いている！

黒い海をよく見れば、なぜかポツンと反射している星の光。それを辿り、再び空を見ると——そこには、1つだけ動かない星がある。「動かない星」に気づき、それを頼りに出来なければ、船は永遠に夜の海をさまようことになる。